

基本構想

1. まちづくりの基本理念と将来像

■基本理念

○市民一人ひとりが幸せを感じられるまちづくり ○持続可能なまちづくり ○個性豊かなまちづくり

■将来像

しあわせと笑顔あふれる みどりがつなぐ“みらい”都市

「まちづくり」とは、道路や公園、建物の整備に関する内容だけでなく、社会・経済・文化・環境など、生活の根幹を構成するあらゆる要素をも含めた暮らしを創っていく過程を言います。

「基本理念」と「将来像」とは、そのプロセスを支えるための基本的な考え方と将来の方向性を表すものです。

2. まちづくりの将来指標

■人口指標

令和9年（計画最終年度）目標人口53,200人 ※目標人口は、国勢調査に基づく常住人口（令和5年4月1日現在51,059人）

■みらい指標

市民の「幸福度」「愛着度」「定住意向」「施策満足度」をアンケート調査で確認しながら、市民一人ひとりの幸福感が高まるまちづくりを推進します。



3. まちづくりのデザイン

グランドデザイン

「豊かに暮らし続けられる市民の舞台づくり」をテーマとした土地利用構想

つくばエクスプレス沿線の発展とともに、都市機能の充実が図られてきました。今後も、福岡工業団地や(仮称)つくばみらいスマートインターチェンジの開通が予定されており、まちの更なる発展が見込まれています。

ライフデザイン

「市民一人ひとりのライフスタイルに応じた豊かな暮らしの実現」をテーマとした暮らしづくり構想

ソーシャルデザイン

「市民が主体的に参加する新たな地域社会づくり」をテーマとした地域社会づくり構想

土地利用構想図

